

令和8年3月4日
国土交通大臣指定試験機関
一般財団法人全国建設研修センター

令和7年度1級管工事・電気通信工事・造園施工管理技術検定
「第二次検定」の合格者の発表について

令和7年12月7日に1級管工事・電気通信工事・造園施工管理技術検定「第二次検定」を実施し、令和8年3月4日に発表となりましたのでお知らせします。

当該技術検定は、建設業法第27条及び第27条の2の規定に基づいて、国土交通省から試験機関として指定を受けている一般財団法人全国建設研修センター（理事長 上田 洋平）が実施しています。

「第二次検定」の合格者は、それぞれ「1級管工事施工管理技士」、「1級電気通信工事施工管理技士」、「1級造園施工管理技士」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から第二次検定合格証明書が交付されます。

受検種目	管工事	電気通信工事	造園
試験日	12月7日(日)		
試験地	全国10地区 (12会場)	全国10地区 (11会場)	全国10地区 (10会場)
受検者数	6,886	5,435	1,979
合格者数	4,360	1,971	890
合格率	63.3%	36.3%	45.0%
合格基準 「第二次検定」	第二次検定の合格基準は、得点が60%以上を合格とする。	第二次検定の合格基準は、得点が60%以上を合格とする。	第二次検定の合格基準は、得点が60%以上を合格とする。

※各種目ごとの詳細については次ページ以降をご確認ください。

試験問題については一般財団法人全国建設研修センターのホームページにて公表しています。

公表期間: 令和7年12月8日(月)から1年間。

【お問い合わせ先】

管工事: 042-300-6855

電気通信工事: 042-300-0205

造園: 042-300-6866

ホームページアドレス: <https://www.ictc.jp/>

●別紙 1級管工事施工管理技術検定

今回、合格を発表した「第二次検定」の受検資格は、制度改正により令和6年度より「学歴ごとに定められていた卒業後の一定の実務経験を有する者(旧受検資格)」から「学歴に関係なく第一次検定等合格後の一定の実務経験を有する者(新受検資格)」になりました。(なお、令和10年度までは、制度改正前の旧受検資格での受検が可能となる経過措置が設けられている)

当該技術検定は12月7日に実施。受検者数と合格者数、合格率は下記のとおり。なお、合格基準は得点が60%以上。

- ・6,886人が受検。令和6年度の受検者数8,736人よりも1,850人減少
- ・4,360人が合格。合格率は63.3%。令和6年度の合格者数6,661人よりも2,301人の減少
- ・女性の合格者の割合は6.9%。令和6年度の6.3%よりも0.6%増加し過去最高となった

なお、1級「第二次検定」の合格者は「1級管工事施工管理技士」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から第二次検定合格証明書が交付される。

試験実施状況及び合格者数

試験地	受検者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
札幌	232	148	63.8
仙台	451	271	60.1
東京	2,604	1,716	65.9
新潟	193	112	58.0
名古屋	803	513	63.9
大阪	1,194	711	59.5
広島	294	188	63.9
高松	231	149	64.5
福岡	791	505	63.8
那覇	93	47	50.5
計	6,886	4,360	63.3

(参考 令和6年度)

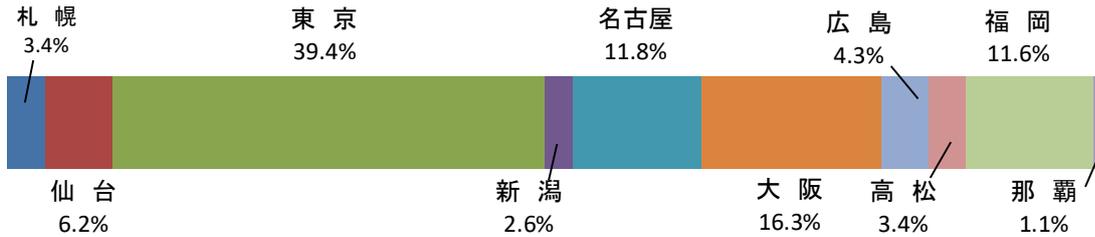
計	8,736	6,661	76.2
---	-------	-------	------

1級管工事施工管理技術検定

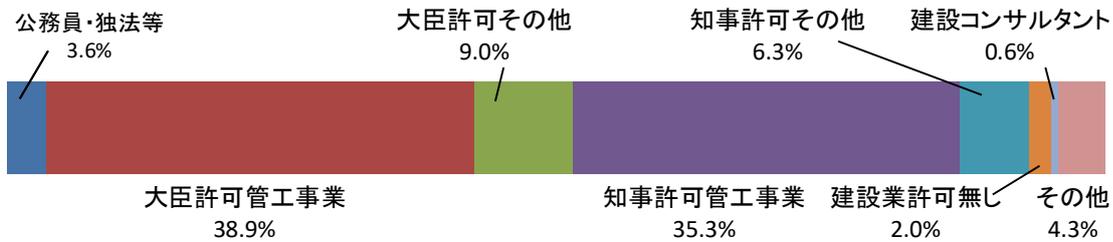
「第二次検定」合格者 属性

(属性のパーセンテージは、小数第2位を四捨五入しております。)

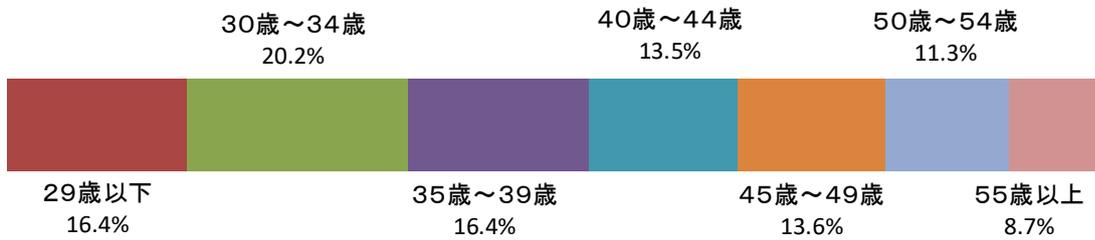
①試験地別



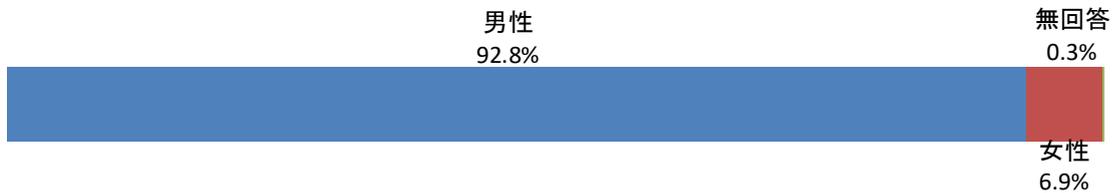
②勤務先別



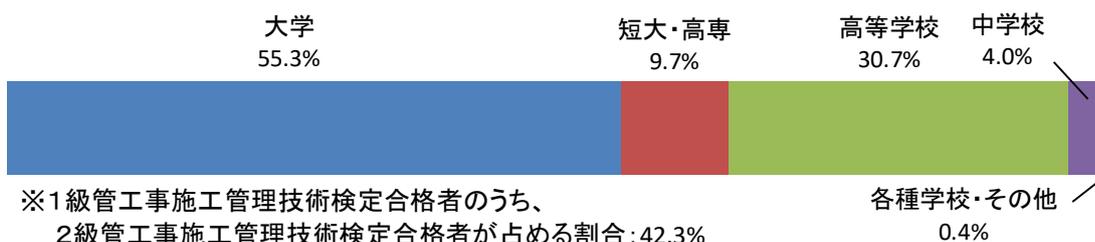
③年齢別



④男女別



⑤学歴別



※1級管工事施工管理技術検定合格者のうち、
2級管工事施工管理技術検定合格者が占める割合: 42.3%

●別紙 1級電気通信工事施工管理技術検定

今回、合格を発表した「第二次検定」の受検資格は、制度改正により令和6年度より「学歴ごとに定められていた卒業後の一定の実務経験を有する者(旧受検資格)」から「学歴に関係なく第一次検定等合格後の一定の実務経験を有する者(新受検資格)」になりました。(なお、令和10年度までは、制度改正前の旧受検資格での受検が可能となる経過措置が設けられている。)

当該技術検定は12月7日に実施。受検者数と合格者数、合格率は下記のとおり。なお、合格基準は得点が60%以上。

- ・5,435人が受検。令和6年度の4,650人よりも785人増加
- ・1,971人が合格。合格率は36.3%。令和6年度の1,904人よりも67人増加
- ・女性の合格者の割合は2.3%。令和6年度の1.6%よりも0.7%増加し過去最高となった

なお、1級「第二次検定」の合格者は「1級電気通信工事施工管理技士」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から「第二次検定合格証明書」が交付される。

試験実施状況及び合格者数

試験地	受検者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
札幌	234	72	30.8
仙台	385	136	35.3
東京	1,992	765	38.4
新潟	189	74	39.2
名古屋	587	210	35.8
大阪	875	324	37.0
広島	267	90	33.7
高松	226	63	27.9
福岡	632	223	35.3
那覇	48	14	29.2
計	5,435	1,971	36.3

(参考 令和6年度)

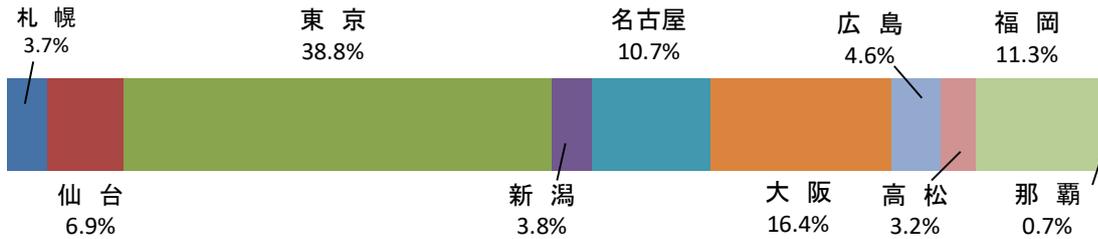
計	4,650	1,904	40.9
---	-------	-------	------

1級電気通信工事施工管理技術検定

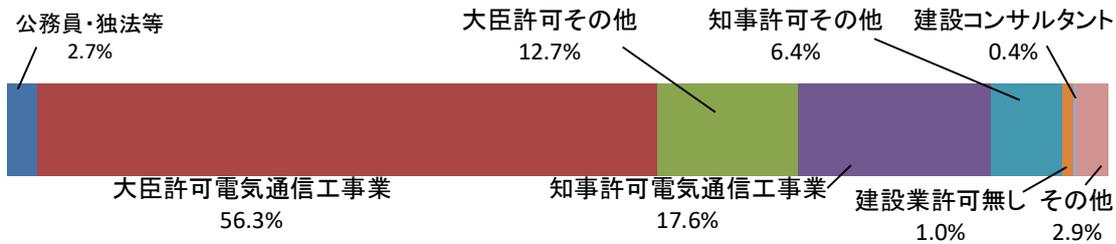
「第二次検定」合格者 属性

(属性のパーセンテージは、小数第2位を四捨五入しております。)

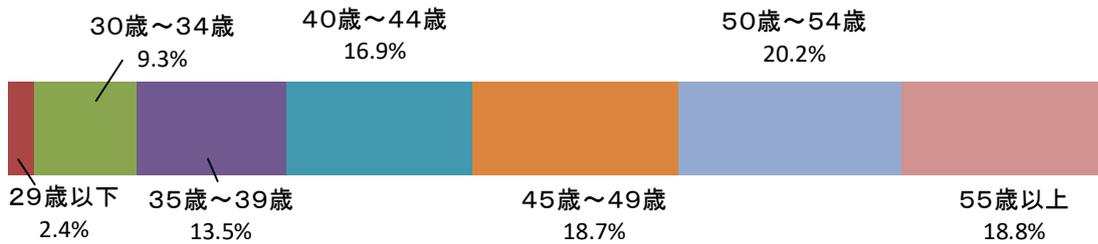
①試験地別



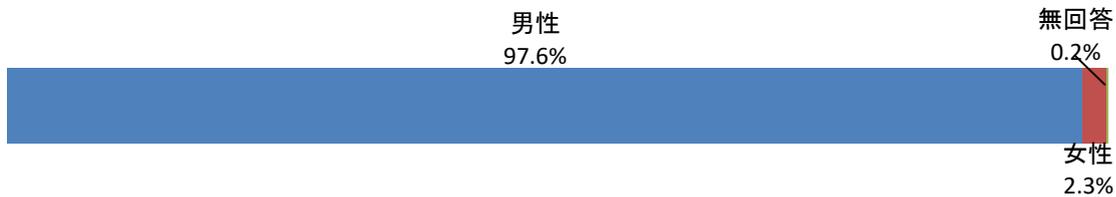
②勤務先別



③年齢別



④男女別



⑤学歴別



※1級電気通信工事施工管理技術検定合格者のうち、
2級電気通信工事施工管理技術検定合格者が占める割合: 14.8%

●別紙 1級造園施工管理技術検定

今回、合格を発表した「第二次検定」の受検資格は、制度改正により令和6年度より「学歴ごとに定められていた卒業後の一定の実務経験を有する者(旧受検資格)」から「学歴に関係なく第一次検定等合格後の一定の実務経験を有する者(新受検資格)」になりました。(なお、令和10年度までは、制度改正前の旧受検資格での受検が可能となる経過措置が設けられている)

当該技術検定は12月7日に実施。受検者数と合格者数、合格率は下記のとおり。なお、合格基準は得点が60%以上。

- ・1,979人が受検。令和6年度の受検者数1,696人よりも283人増加
- ・890人が合格。合格率は45.0%。令和6年度の合格者数678人よりも212人の増加
- ・女性の合格者の割合は18.2%。令和6年度の18.1%と同様となった

なお、1級「第二次検定」の合格者は「1級造園施工管理技士」と称することができ、所定の手続きを行うことで国土交通大臣から第二次検定合格証明書が交付される。

試験実施状況及び合格者数

試験地	受検者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
札幌	51	17	33.3
仙台	112	45	40.2
東京	817	380	46.5
新潟	45	22	48.9
名古屋	231	122	52.8
大阪	361	155	42.9
広島	41	20	48.8
高松	68	24	35.3
福岡	234	95	40.6
那覇	19	10	52.6
計	1,979	890	45.0

(参考 令和6年度)

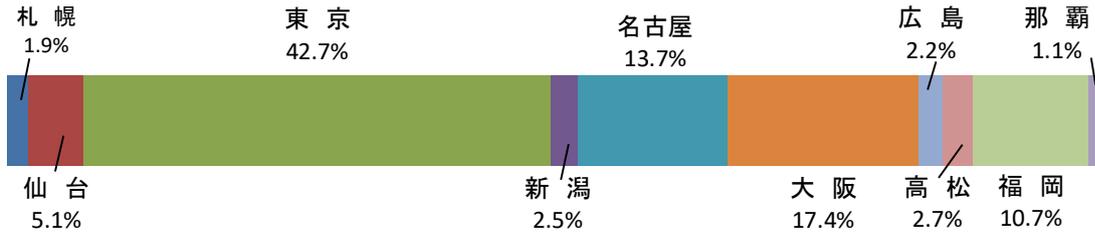
計	1,696	678	40.0
---	-------	-----	------

1級造園施工管理技術検定

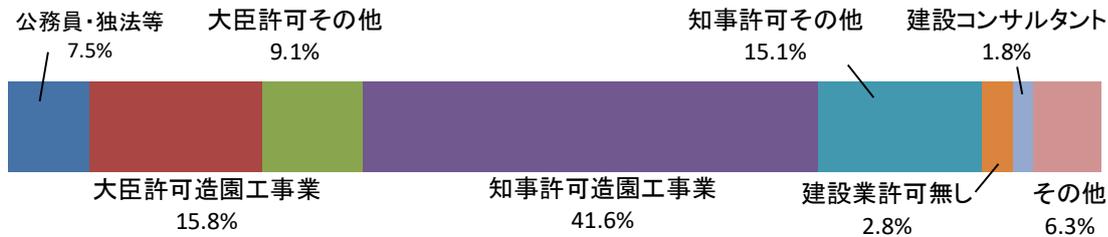
「第二次検定」合格者 属性

(属性のパーセンテージは、小数第2位を四捨五入しております。)

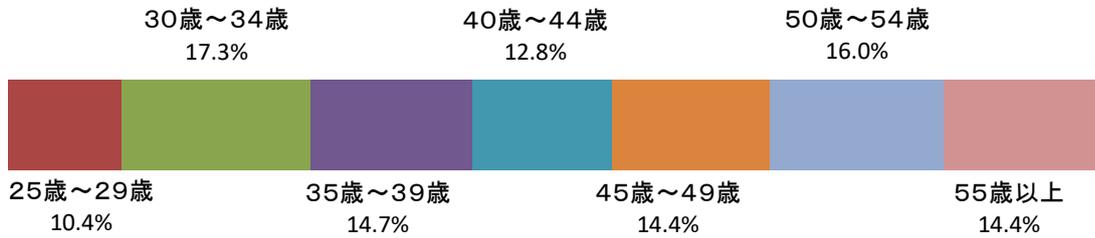
①試験地別



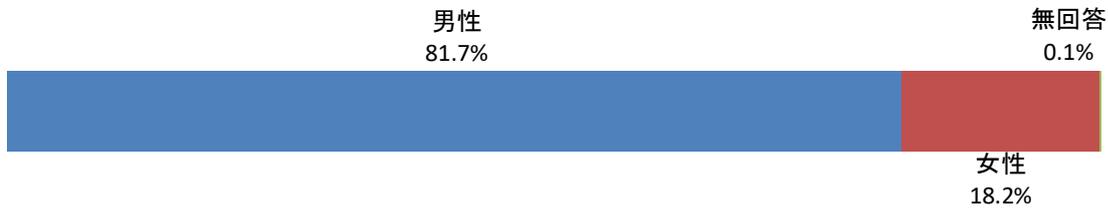
②勤務先別



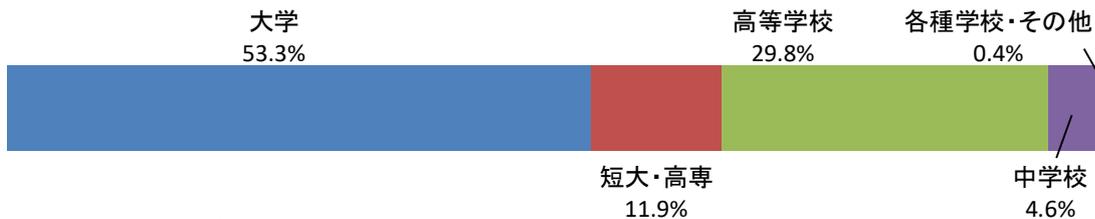
③年齢別



④男女別



⑤学歴別



※1級造園施工管理技術検定合格者のうち、
2級造園施工管理技術検定合格者が占める割合：46.2%